

岩槻市との合併協議に関する調査について

調査期間	平成16年4月23日～4月30日	
調査票発送者数	404人	
調査票提出者数	356人	回収率 88.1%

設問1 「さいたま市のまちづくりをどのような方向性をもって進めていくべきか」の主な回答要旨

- いわゆるさいたま市の“へそづくり”。新都心を中心とした更なる「核」づくりが必要である。さいたまタワーはその最たるものになる。
- 世界の有名な都市に仲間入りするために、地域の歴史的財産を掘り起こし、さいたま市ブランドの情報発信、人的な交流推進、JRとの協働事業の推進など独自性を発揮していく。
- 埼玉県政令指定都市として、様々な面でリーダーシップを発揮し、市民一人ひとりも良識をもってリーダーの立場にたち、まちづくりを推進する。
- 日本は川を利用するのがへたである。海外の都市を見習い、荒川、見沼田圃、元荒川など水辺を活かした交通及び自然を活かした景観作りを行う。今から100年後を見据えてダイナミックな都市づくりをすべきである。
- さいたま市は年々人口が増え、この中にあって県内最大の商業地区と交通の一大拠点をもち、この地の利を最大限に活かす必要がある。同時に地域内の特性を活かした水と緑の住環境を整備する必要がある。また、市民の足としての道路や交通体系の整備が必要で、市民の安全と安心を約束するため防災都市機能の充実と防犯機能の整備拡充を図る必要がある。さらに、社会的弱者と呼ばれる高齢者をはじめとした多くの方々を救済する社会福祉のまちづくりを実現してほしい。
- 首都圏北部の要となる政令指定都市であるので広域的な行政を行い、そのためには、通勤、輸送のための道路網、鉄道網の整備が必要である。岩槻は文化・伝統・緑地等が豊富な所なので出来る限り、開発による破壊を避けてほしい。

- 政令指定都市として広域的な拠点性を発揮することと併せて地域ごとの個性や魅力を高めて、市民の生活を豊かにすることが大切である。また、そのための市民の自主的な活動との協働に基づく、区の主体性の発揮が必要になる。
- 荒川、見沼田圃、元荒川の豊かな緑を活かし自然と共生できる緑豊かな都市を目指し、恵まれた水と緑を活用した居住空間の提供が大切である。
- 水と緑のネットワークを広げていく上で、大宮台地・岩槻支台・元荒川低地をつなげていくことは重要である。また、岩槻もどこにでもあるような近代化を図るのではなく、岩槻城下町といった特性を活かして位置づけていくことが望まれる。
- 荒川や見沼田圃周辺に加え、元荒川地域の農地を大切にし、都市の農地は都市住民の共有財産との認識を持ちながら、農と緑のあるまちづくりを推進してほしい。
- さいたま市が政令指定都市に移行して1年が経った。単に3市が合併しただけでないということがすごいと感じられ、まさに、首都圏においての枢要な自治体としての役割が大きくなっている。これからさいたま市に進出してくる企業、新たにさいたま市民となる転入者に「働きたい、学びたい、憩いたい」と思える魅力ある環境整備を望む。
- 「住んでよかった」「住んでみたい」「さいたま市へ行ってみたい」といわれる特色ある街づくりが重要。人口が着実に増加していることは期待の高さの現れである。
- さいたま市の地理的な位置、自然、交通、人、文化、産業等を活かし、特徴をもった諸施策や土地利用を行う。そのためには産学官が智恵を出しあい、協働に基づく各種事業を展開し、さいたま市に住むことが、働くことが、学ぶことが、集うことがステータスと思えるような独自性をもったさいたま市にしていく。
- 交流拠点都市としての機能集積の高度化、豊かな環境の保全・創出、ゆとりある生活文化、この3点のバランスをとりながら、市民と行政が協働してまちづくりを進めることが肝要。そうすることにより、現在のさいたま市の勢いを加速させ、住む人、働く人にとって“夢のある”さいたま市が実現していく。

- 政令指定都市移行のキーワードである「市民参画・協働型」の市政推進こそ、他の自治体が注目している新しい手法であり、市民と行政の協働によるまちづくりの方向性を大切にすることが必要である。
- 中小企業や地場産業を中心とした経済の活性化が行われるような産業振興、育成に力を入れていくべきである。
- 岩槻市の人形を中心とした種々の点での文化を伸ばし、歴史的な資源を活かした特徴的な魅力あるまちづくりを進める。
- まちづくりの原点として、生活環境の中から人々の智慧の結晶で育った文化をみることができる。広域化で画一化されると、その独自性をもった文化を失うことになる。旧市のもつ特性を活かし積極的に取り入れ、現在の区政に反映していくことが重要である。
- 数々の施策を実施するのは、財政面の強化が必要であり、いかに豊かにしていくかを優先して考えるべきである。
- 青少年育成については、どこの市町村でも同じ目標を掲げているが、その活動については各々の地域特性を踏まえたものとするべきである。地域ごとのきめの細かい育成活動ができるよう、市民一人ひとりの意見を広く聞いたり、意見を述べるような機会づくりを増やす必要がある。

設問２ 「現在進められている岩槻市との合併協議について、あなたはどのようにお考えになりますか。下記の中からお聞かせください」の回答数

項目	人数	割合
1 合併に向けて協議を進めるべきである	276 人	77.5 %
2 合併協議を中止するべきである	14 人	3.9 %
3 どちらともいえない	55 人	15.5 %
4 その他	11 人	3.1 %
計	356 人	100.0 %

1 と回答した主な理由

- 21世紀の自立した都市の構築に向けて、岩槻市との合併は、都市として自立した機能を担うのに必要。
- 岩槻市は、文化、歴史、そして緑を持ったまちであり、さいたま市のこれからの街づくりを行うにあたり、バランスのとれた街づくりができる。
- 未来都市には若さや多彩さだけではなく、落ち着きと伝統が必要である。歴史ある岩槻市が入ることで、ゆとりと豊かさがでる。風格ある市づくりのために合併すべきである。合併により歴史と伝統の視点が加わり、市民の市に対する愛着が生まれ、市民同士、市民と行政の一体感が生まれる。
- 「国際アメニティタウン構想」に基づく、地下鉄7号線沿線を中心とした街づくり等両市にまたがる広域的課題への取り組みが強化される。
- 都市基盤の整備に財政負担が増えるという意見もあるが、市域の拡大は新さいたま市にとって貴重な財産となる。
- 岩槻市は、日本を代表する生産高を誇る人形の町で自然環境にも恵まれ、歴史的にも宿場町として大いに栄えたところである。さいたま市との合併により、それぞれの特性を活かし、合理的な行政サービスを提供する

ことにより、さいたま市の魅力が一段とアップし、政令指定都市として発展することを確認する。

- 岩槻市の熱望は重く受け止めるべきであり、さいたま市の将来にとって、地理的フロンティアを得ることの意味は大きい。
- さいたま市東部地域は、古くから岩槻市に隣接し生活圏を共にしてきた関係から違和感が少ない。市全体の地形としてもよい。見沼用水、綾瀬川流域に緑の多い理想都市が出来ればよいと思う。
- 岩槻市は人形の街であり、それを創作する職人の街である。商業の街、文教の街であるさいたま市に、もうひとつ伝統ある職人の街が増えることは、すばらしいことだと思う。
- 岩槻市の住民投票の結果が、さいたま市との合併希望が 52.61 パーセントであり、それを考慮し合併を推進すべき。
- さいたま市は日本の政令市の中では面積も規模も小さすぎる。新都心のアリーナや2002サッカー場など何万人もの人を呼べる器があるのに有効活用できていない。岩槻市をはじめ、近隣市なども視野に入れ、地下鉄建設などを進めるべきと思う。人形の町として岩槻市との合併は、大きさだけではなく、歴史や文化の香りも併せ、さいたま市の奥行きをより深めてくれるものと思う。

2 と回答した主な理由

- 旧3市にとって合併、そして政令市への移行と、ここ数年の間に劇的な変化があった。
現在、さらに合併を志向するのではなく、今の枠組みでじっくりかつ早急にさいたま市のグランドデザインを描くべきであると考えている。
- 合併によって、地下鉄延伸計画が促進されると考えるが、これに伴う財政悪化を懸念する。

3 と回答した主な理由

- 政令指定都市がスタートして1年経ったが、それぞれの地域環境・生活環境・市民意識の違いから生じる問題を感じるが多々あるので、更なる合併には少々不安がある。しかし、岩槻市にある、豊かな自然的資源、

歴史的・地域文化的資源には大変魅力を感じる。「楽しい競争・夢のある競争」をもってスタート出来ればと願う。

- 政令市として広域的拠点都市としてリーダーシップを発揮していくためには、合併は進めるべきであると考え。しかし、東京放射交通網を強化し、東京依存を進める地下鉄の延伸を期待しての合併に、財政負担面において疑問を感じる。
- 三市合併、政令指定都市となり、さいたま市としての落ち着きを得てからで良いのではないかと考える。急がず市民のコンセンサスを得てからで良いのではないかと考える。
- さいたま市の合併は区役所が出来て身近に感じて、職員も親切で市民の意見をよく聞き対応してくれる。合併して市民の手続き関係が遠くなることが想定され合併推進は望みたくない。

④と回答した主な理由

- 反対ではないが時期尚早である。多くの障害を克服して誕生したさいたま市は大きなビジョンを持ってスタートしたが、まだ日は浅い。政令指定都市としての形は出来つつあるが、諸機能の内容充実、円滑な活動の展開にはまだまだ時間が必要。平面より立体的に考えるべき。岩槻市との合併は個人的には時期尚早の感じがある。
- 一般論として合併ムードには反対だが、それなりの理由もあるだろうと思われるので、やむを得ないと思う。
合併に関して福祉、交通、教育、文化、その他住民にとってマイナスにならぬよう緻密であたたかい配慮が必要である。